

グローバルマーケットカンパニー

投資家

Global Markets Company

多様な仲介機能を発揮する市場に精通したパートナーとして、幅広いお客さまのニーズに対して銀行・信託・証券連携による最適なプロダクツ・機能を提供します。

グローバルマーケットカンパニー
共同カンパニー長
吉原 昌利



グローバルマーケットカンパニー
共同カンパニー長
芝田 康弘

基本方針

グローバルマーケットカンパニーは、市場プロダクツを通じたお客さまへのソリューション提供を行うセールス&トレーディング(S&T)業務と、資金運用や調達、有価証券投資等を行うバンキング業務を担当しています。

基本戦略として、最適なプロダクツ・機能提供体制の構築とその前提となる市場プレゼンスの強化を掲げています。

S&T業務では、グローバルネットワークとプロダクト提供体制の最適化により多様な仲介機能を発揮します。バンキング業務では、実現益と評価損益のバランスを重視しつつ、機動的なALM・ポートフォリオ運営の一層の高度化に努めていく方針です。

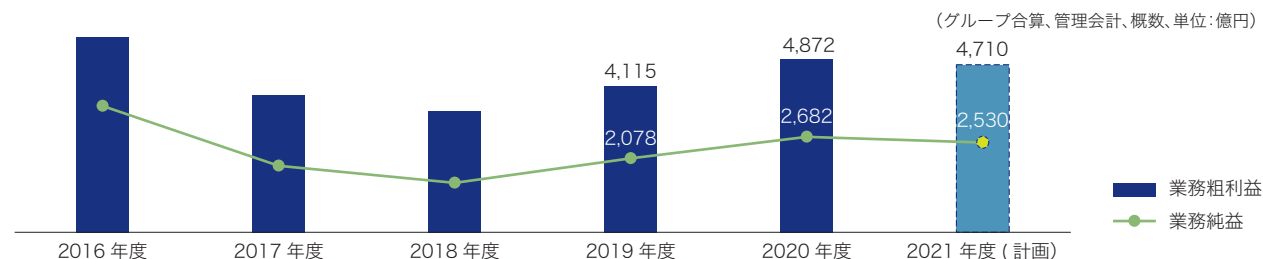
取り巻く環境と課題認識

IMF（国際通貨基金）によると、2021年の世界経済は6.0%成長と安定化が予想されますが、各国間の回復の差が拡大しつつあり、不確実性の高い状況が続いています。各国の財政金融政策、新型コロナウイルスのワクチン普及によって経済の正常化が見込まれますが、インフレ率の上昇が警戒される中、米連邦準備制度理事会の金融緩和縮小への関心が高まりつつあり、市場構造が大きく変化している兆しも見られています。

このような環境変化を踏まえ、多様化するお客さまのヘッジニーズや投資運用ニーズへの着実な対応に努めるとともに、ALM・ポートフォリオ運営の高度化、各分野におけるサステナビリティ推進に取り組んでいきます。

業績の推移

業務純益の推移は、米国での長短金利差縮小等を背景に有価証券ポートフォリオの再構築等に着手した2018年度に一時的に落ち込みましたが、実現益と評価損益のバランスを重視したALM・ポートフォリオ運営や銀・証横断の一体運営深化により、2019年度は2,078億円、2020年度は2,682億円と高水準を計上しており、2021年度は2,530億円を計画しています。



※1. 業務粗利益、業務純益にはETF関係損益等を含む
 ※2. 実績は2020年度管理会計ルール、計画は2021年度管理会計ルールによる概数

重点戦略

■ グローバルALM 運営の高度化

効率的な資金繰り運営や円資産担保活用をはじめとする外貨資金調達源の多様化、預金超過状態にある円貨ALMの運用手段高度化等を推進し、グローバルに安定性と効率性を両立させたバランスシート運営を通じ、グループ全体のビジネス戦略に貢献していきます。

関連するサステナビリティ重点項目(マテリアリティ)

- 健全な経済成長
- ガバナンス

■ 銀・証S&T業務実質一体運営の深化によるお客さまビジネスへの特化とプロダクトライン多様化による収益安定化

ワンヘッドが統括する銀・証横断の運営体制により、お客さまの多様な市場ニーズに対応する「ソリューションアプローチ」を強化していきます。また、為替ビジネス変革の推進や、ビジネスポートフォリオ多様化・安定化に向けたプロダクトラインの強化・多様化を継続し、グローバル市場での一層のプレゼンス向上に向けて取り組んでいきます。

関連するサステナビリティ重点項目(マテリアリティ)

- 健全な経済成長
- ガバナンス

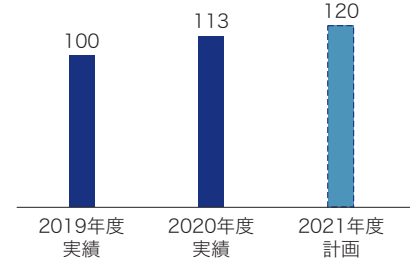
■ 経営基盤の構造改革

お客さまに今後も質の高いサービスを提供していくために、テクノロジーの進展を見据えた次世代のディーリングルーム・市場システムを構築していきます。また、戦略的な経営資源配分によるインフラ強化やコスト削減により競争力を維持・強化していきます。さらに、人事制度改革を踏まえたカンパニーベースでの人事運営・企画機能強化に取り組みます。加えて、投資・資金調達・S&T各分野においてサステナビリティの取り組みを推進していきます。

関連するサステナビリティ重点項目(マテリアリティ)

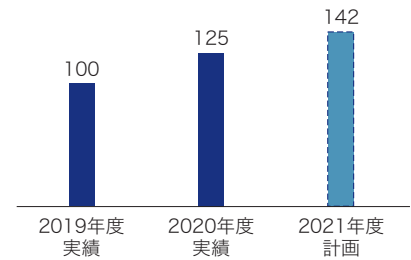
- 健全な経済成長
- 産業発展とイノベーション
- ガバナンス

■ アジアエマージング為替取引非日系社数 (2019年度実績=100)



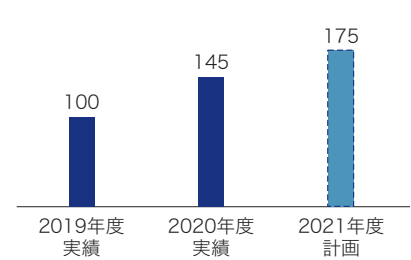
※ 内部管理ベース

■ 金利デリバティブ取扱高 (2019年度実績=100)



※ 内部管理ベース

■ 円建資産担保を活用した外貨調達額 (2019年度実績=100)



※ 内部管理ベース、2019年度実行分より純増額を積み上げ

TOPICS 市場予兆管理システムの開発と特許取得

市場予兆管理システムは、機械学習を活用した大量の市場データ分析に基づき、金融市場の「構造変化」、「局面定義」、「予測リターン分布」等を可視化するシステムです。当カンパニーでは投資関連部署における投資判断支援ツールとして2018年3月より活用を開始しており、2021年3月に特許を取得しています。



TOPICS IBM-みずほ GMC先端LABを通じた未来化の推進

テクノロジー主導によるビジネス変革等をめざし、日本アイ・ビー・エム株式会社およびIBM Researchと、プロジェクトを開始しました。クレジットポートフォリオの最適化において、トレーダーのオペレーションにAI等による支援を付与する取り組みや、量子コンピュータの市場業務への活用検討を通じ、先端技術・データを活用した付加価値あるソリューションのご提供を実現していきます。



CEOメッセージ

みずほについて

CEOメッセージ

価値創造のための戦略

企業価値を支える力

データセクション